

◇令和6年度学校関係者評価

【学校の現状について】

4:そう思う、3:どちらかといえばそう思う、2:どちらかといえばそう思わない、1:そう思わない

番号	評 価 項 目	評 価		備 考
		全日制	定時制	
1	本校の教育目標やめざす学校像、生徒像は、保護者や地域の願いを踏まえた適切なものである。	4.0	3.8	学校経営方針
2	本校は、保護者・地域に対して学校の情報提供に努めている。	4.0	3.8	学 校 運 営
3	本校は、安全で安心できる場所として教育活動が行われている。	4.0	4.0	
4	本校は、保護者・地域の意見や要望を取り入れて、連携した教育活動を行っている。	4.0	3.8	学 習 指 導
5	本校は、特色ある教育活動を実践できている。	4.0	3.4	
6	本校の教育活動は、生徒個々が抱えている悩みやいじめなどの課題に適切に対応している。	3.4	4.0	生 徒 指 導
7	本校の部活動や学校祭などの生徒会活動は、生徒の幅広い豊かな人間性を育んでいる。	4.0	3.8	
8	本校の進路指導は、保護者・地域の期待に応えている。	4.0	4.0	進 路 指 導
9	本校の進路指導は生徒個々の適性・能力に合った進路目標を持たせ、その実現を図る指導が適切に行われている。	4.0	4.0	
10	本校は生徒の健康安全や危機管理に対して十分に対応できている。	3.8	4.0	健康安全指導
*評価について、特に説明などがあれば、記述願います。				
・全日制・定時制ともに、生徒の成長を第一に考えた教育活動に真摯に取り組んでおり、学校全体でより良い教育を目指している姿勢が伝わってきます。 ・全日制では、SSH事業や医進類型事業など、特色ある教育活動をさらに発展させ、生徒の探究心や主体性を育む活動を継続していくことを期待しています。 ・定時制では、生徒一人ひとりの状況を把握し、きめ細やかな指導を継続することで、生徒の学習意欲を高め、進路実現を支援していくことを期待しています。 ・5については定時制はいたしかたないと思われる。 ・今後も、地域や保護者と連携し、地域社会に貢献できる人材育成を目指して、教職員一同、力を合わせて頑張ってください。埴校長が蒔いた種をどのように発展させるかが今後の課題です。これからも学校評議員として応援を続けていきます。				

【評価の適切さ】 4:そう思う、3:どちらかといえばそう思う、2:どちらかといえばそう思わない、1:そう思わない

番号	評 価 項 目	評 価		備 考
		全日制	定時制	
1	目標達成に向けた取り組みについて適切である。	4.0	3.8	
理由意見	学校教育目標に基づき、様々な教育活動に取り組んでいる。 常に時代に相応しい新しい取組を積極的に行っている。			
2	評価結果の分析について適切である。	4.0	4.0	
理由意見	自己評価の結果を分析し、今後の改善につなげようとしている。 評価結果に対する今後の方策が適切である。			
3	今後の改善方策は適切である。	4.0	4.0	
理由意見	自己評価の結果に基づき、具体的な改善方策を検討している。 上記同様、評価を真摯に受け止めた改善方策を具体的に示している。			

上記の項目以外で本校の教育活動や生徒・教員について要望・意見があれば、記述願います。

・全日制ではクラス数、生徒数が今後も少なくなり、それに伴い教職員の数が少なくなっていき、定時制ではこれまでの成果が評価され、生徒数が増えている。この変化に対して、教職員の創意工夫、協力体制は不可欠なものとなる。塙校長が推進してきた、SSH 事業や医進類型事業などの特色ある教育活動、そして ICT を活用した学習活動のさらなる充実など、これまでの改革を土台に、今後も教育内容の充実を目指していただきたい。

・全日制では、少人数教育を生かしたきめ細やかな指導や、探究活動を通して生徒の主体性を育むことに力を入れていただきたい。

・定時制では、生徒一人ひとりの学習状況を把握し、進路実現を支援するとともに、多様な学習ニーズに対応できるよう、ICT を活用した学習環境の整備を進めていただきたい。

・それぞれの教員が学校のあり方について自覚を持ち、教育活動に尽力することで、生徒の成長を支え、地域社会に貢献できる学校を築いていただきたい。教職員の皆さんの日々の努力に感謝し、今後の活躍を期待している。

・全定ともに地域人材の活用を図っていただきたい。生徒が将来、自立した生活を送る上で、判断力の育成が「鍵」となる。論理的思考力の育成のもと、自ら考え判断し、責任を担える能力を育てていただきたい。地域のトップ校としての付託です（応援団はOB以外にもたくさんいます）。